

わかくさもえる



手をひろげ、指先を上、甲を前に向けて、左右交互に上下しながら両脇にひろげていく。
(「草」の手話)

ばら



手のひらを下にして右手をひろげ、胸の前で水平に円を描くように一周回す。
(「原」の手話)

きの



木の幹をかたどるように、両手の親指と人差し指をひろげて下から上へと動かす。
(「木」の手話)

さとに



指を軽く折り曲げた状態で右手を下に動かす。
(「場所」の手話)

むねをはずませ



両手を重ね、胸の前で前後に繰り返し動かす。
(「緊張」「ドキドキ」などの手話)

あつまる



両手をそれぞれ左右から中央に向かって寄せる。
(「集まる」「集める」の手話)

ぼく



右手人差し指を胸に向ける。
(「私」の手話)

ら



手のひらを下にして右手をひろげ、胸の前で水平に左から右へ弧を描くように動かす。
(「みんな」の手話)

ともと



両手を組み(握手をするように)、
円を描くように水平に回す。
(「友だち」の手話)

てをくみ



隣の友だちと手をつなぐような動作を、
右手→左手の順に行う。

こえ



右手の親指と人差し指で輪を作り、喉の前で下から
上へと手首を返すように動かす。
(「声」の手話)

あわせ



両手をそれぞれ左右から中央に向かって寄せる。
(「集まる」「集める」の手話)

うたおう うたおう



両手の人差し指と中指を合わせ、顔の横から繰り返し
左右に動かす。
(「歌」「歌う」「音楽」の手話)

き



右手の人差し指をこめかみに当て、

ぼうの



そのまま手をひろげ、指をひらひらと動かしながら
右上へ動かしていく。
(「き」とあわせて「希望」の手話)

うたを



両手の人差し指と中指を合わせ、顔の横から繰り返し
左右に動かす。
(「歌」「歌う」「音楽」の手話)

こころの



心臓あたりを右手人差し指で差し、円を描く。
(「心」「心臓」の手話)

ふる



両手をお腹から前に出しながら軽く下へ動かす。
(「産む」「出身」の手話)

さと



指を軽く折り曲げた状態で右手を下に動かす。
(「場所」の手話)
(「出身」と合わせて「出身地」「ふるさと」)

いちかわ



指を上に向けたまま、右手を顔の前から下へとまっすぐに下ろす。
(「市川」の手話)

ようご



胸の前で両手の手のひらを上に向け、2回上下に動かす。
(「学校」「勉強」の手話。「養護」の手話ではない。)

☆1番のポイント☆

- ・「ともとてをくみこえあわせ」の部分は、手話が詰まっていてせわしなくなりがちです。
落ち着いて、大きな動きで表しましょう。

ながれ ゆたかな



右手の手のひらを上に向け、胸の前でゆらゆら動かしながら左から右へと動かす。
(「水」の手話)

え



右手をひろげ、軽く指を曲げた状態で前に向ける。
(指文字の「え」)(「e」のイメージ)

ど



右手の人差し指と中指を揃えて立てて上に向け、右へスライドする。
(指文字の「と」+右へスライドで濁音=「ど」)

がわの



右手で「3」を作り、上から下へ動かす。
(「川」の手話 漢字の「川」のイメージ)

ほとりて



両手の親指と人差し指を付け、左右からそれぞれ中心に動かして胸の前でくっつける。
(「近く」の手話)

きたえる



両腕を水平に折り曲げ、両拳で胸を2回たたく。
(「鍛える」の手話)

こころと



心臓あたりを右手人差し指で差し、円を描く。
(「心」「心臓」の手話)

からだ



お腹～胸あたりで円を描くように右手のひらを回す。
(「体」の手話)

のびる



右手のひらを軽く折り曲げ、肩付近から上に動かす。
(「成長」の手話)

ちからに



力こぶを作るように右腕を曲げる。
(「力」の手話)

みがきかけ



左親指を立て、上に動かしながら右手で左手をトントンと軽くたたく。
(「育てる」の手話)

すすもう すすもう



下に向けた右人差し指を起しながら前に動かす。
2回繰り返す。
(「進む」「行く」の手話)

き



右手の人差し指をこめかみに当て、

ぼうの



そのまま手をひろげ、指をひらひらと動かしながら
右上へ動かしていく。
(「き」とあわせて「希望」の手話)

みちを



「前へならえ」をするように、両腕を前に出していく。
(「道」の手話)

まなびの



胸の前で両手の手のひらを上に向け、2回上下に動かす。
(「学校」「勉強」の手話)

ふる



両手をお腹から前に出しながら軽く下へ動かす。
(「産む」「出身」の手話)

さと



指を軽く折り曲げた状態で右手を下に動かす。
(「場所」の手話)
(「出身」と合わせて「出身地」「ふるさと」)

いちかわ



指を上に向けたまま、右手を顔の前から下へとまっすぐに下ろす。
(「市川」の手話)

ようご



胸の前で両手の手のひらを上に向け、2回上下に動かす。
(「学校」「勉強」の手話)(「養護」の手話ではない)

☆ 2番のポイント ☆

- ・「のびるちからにみがきかけ」の部分は、左右の手のどちらを使えばよいのか迷いやすいようです。しっかりと確認しておきましょう。(左右が違って、通じます。)

ともに



両手の人差し指を、左右から中心に動かして付ける。
(「一緒」の手話)

いきよう



左右の拳を向かい合わせ、2回振り下ろす。
(「生きる」「頑張る」の手話)

ぼく



右手人差し指を胸に向ける。
(「私」の手話)

らの



手のひらを下にして右手をひろげ、
胸の前で水平に左から右へ弧を描くように動かす。
(「みんな」の手話)

まちと



両手で屋根をかたどり、右に動かしながら屋根を3つ
作る。
(「街」の手話)

あかるい



上の方で交差させた両手を、左右にひろげる。
(「明るい」の手話)

みらいを



頭の横から右手を前に出す。
(「未来」「将来」の手話)

ゆめに



吹き出しを作るように、頭の右上で手を動かす。

みる



右手でピースサインを作り、先に作った「ゆめ」のほうに目線と一緒に向ける。
(ピースサインで目線を表している)

くらしのわざを



両手でそれぞれ「L」を作り、左右同時に時計回りに回す。
(これだけで「暮らし」「生活」の手話)

みにつけ



右手でピースサインを作り、左手首に向けて2回振り下ろす。
(「技」「技術」の手話)

て



右手で拳を作りながら、左手首に付ける。
(「身につける」の手話)
(この辺りは歌詞と手話のタイミングが合っていないので注意)

めざそう めざそう



左手で輪を作り、右手の人差し指を輪に付ける。
2回繰り返す。
(「目指す」「目標」等の手話)(指は輪の中には入れない)

き



右手の人差し指をこめかみに当て、

ぼうの



そのまま手をひろげ、指をひらひらと動かしながら右上へ動かしていく。
(「き」とあわせて「希望」の手話)

おかを



右手を左から右へ、弧を描くように動かす。
 (「丘」の手話)
 (急カーブになりすぎると「山」になるので注意)

すだちの



両手を前に向けて親指だけを交差させ、翼がはためくように手を動かしながら前に出す。
 (本来の意味・不明)

ふる



両手をお腹から前に出しながら軽く下へ動かす。
 (「産む」「出身」の手話)

さと



指を軽く折り曲げた状態で右手を下に動かす。
 (「場所」の手話)
 (「出身」と合わせて「出身地」「ふるさと」)

いちかわ



指を上に向けたまま、右手を顔の前から下へとまっすぐに下ろす。
 (「市川」の手話)

ようご



胸の前で両手の手のひらを上に向け、2回上下に動かす。
 (「学校」「勉強」の手話。「養護」の手話ではない。)

☆3番のポイント☆

- ・「ゆめに『みる』」の部分では、目線も「ゆめ」に向けるようにしましょう。
- ・「くらしのわざをみにつけて」の部分は、歌詞とその歌詞を表す手話が異なるタイミングで表現されています。「くらし」「わざ」「みにつける」の手話表現を正しく覚えておきたいですね。

☆全体を通してのポイント☆

- ・(手本では口が閉じてしまっている部分もありますが) 口も一緒に動かしながら(歌詞を歌いながら)表現しましょう。また、手話では表情も大事なポイントです。表情豊かに歌えるといいですね。
- ・手本は実際の手話とは左右反転した状態で表現しています。鏡だと思って練習してみてください。